

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	利用者が無断外出し、職員の気づきが遅れた場合、重大な事故につながる恐れがある。	地域の住民の皆様が、ホームの行事に参加していただき、利用者が一人である場面を見かけたら、積極的にホームに知らせていただける体制を整え、親しみのある関係を構築する。	地域の高齢者ではなく、ホームの利用者と思われる高齢者を見かけたら、ホームに一報くださるよう地域の総会でお願ひし、地域の皆さんにホームの電話番号が掲載されている広報誌を配布する。地区の老人クラブの会長に、皆さんでホーム行事に来ていただけるよう、お知らせを配布する。	6か月
2	35	災害時の備蓄食料が、簡易に食べられるものではなかった。カセットコンロも用意してあるが、カセットコンロを使用できない状況になった場合、食料が不足することが予想される。	調理しなくても簡易に食べられる食品を3日分用意し、賞味期限を管理して、期限が近づいたら皆さんで試食し、災害なく過ごせた喜びを分かち合う。	災害用のアルファ米を162食、火不使用のレトルトの汁物162食、缶詰162食、果物缶162食、ビスケット、せんべい等の日持ちの良いおやつ108食、10年保存水を108リットル購入し、食品別の賞味期限をリストにして貼付し、スタッフルームにも掲示する。	3か月
3	54	(調査員の提言事項より)ホールには温・湿計があるが、利用者の各居室には設置されていないため、就寝中の温度や湿度の管理が曖昧である。	利用者の各居室に温・湿計を設置して、最適な温度や湿度の管理ができ、健康管理ができる。	外部評価結果を家族会にて報告した際、家族会の事業として、各居室に温・湿計を設置していただけることになりました。	6か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。